

# 関東農政局長賞

受賞者 なかのじょうまちのうぎょうに ないてうけいれきょうぎかい  
中之条町農業担い手受入協議会  
(群馬県吾妻郡中之条町)

## 【 ウェルカム！なかのじょう！地域で支える新規就農！ 】

### 1 取組の動機と背景

中之条町の農業は、標高300m～1,000mを超える地域に耕地が点在し、中山間地域及び山間地域の狭小な農地を活用して、稲作、こんにゃく、野菜、花き、果樹などが栽培されている。また、酪農、養豚、鶏卵なども行われている。

農家戸数は、平成4年の1,088戸から平成26年には538戸と約半数に減少し、農産物の価格の低迷により農業経営者も減少している状況であり、農地利用は、土地改良事業などにより優良農地が確保される一方で、農業従事者の高齢化による遊休農地の増加、土地持ち非農家の増加による農業の担い手不足は、深刻な問題となっている。

このような中で、町の特産品として産地化が図られている山野草、宿根草の切り花等の花卉生産を中心に、他地域からの新規参入者に対する支援を行うため、平成28年に「中之条町農業担い手受入協議会」を設立。翌29年には、活動の幅を町内全域の他の作物にも広げている。

### 2 主なむらづくりの内容

- 六合地区の「六合の花」の取組から始まった新規就農者確保の体制づくりが、町全体の組織へと広がりを見せ、地域が一体となった新規就農者に対するサポートの仕組みとなっている。
- 就農希望者の積極的な受入れ募集のため、「新農業人フェア」への出展や地元農業者と連携した農業体験研修会のほか、移住希望者に対し地域住民との交流会、継続的な営農指導等を行っている。（平成28年から令和4年までに11名が就農）
- 農業の維持、活性化はもとより、地域の維持・活性化のため、他地域からの新規就農者の受入に向け、関係機関が一体となって総合的に支援している。



新農業人フェア就農相談



現地研修会



市場・生花店を招いての産地見学会



就農後のサポート会議